

・ 97年地理学教室の行事記録	1
・ 97年度地理巡検の記録	1
・ 97年度卒業論文公開口頭試験受験者	4
・ 国士館地理学会費の納入について	5

【97年地理学教室の行事記録】

- 2月10日～13日 平成7年度 卒業論文公開口頭試験
3月6日 国士館地理学会春季巡検（東京都：内田）
5月22日～23日 1年生野外実習（東京都渋谷区：長島、瀬戸、野口、長谷川、内田、岡島）
5月31日 国士館地理学会（於 鶴川キャンパス メーブルホール4F）
 <総会> メーブルホール4F
 <講演会> 岡島 建（本学専任講師）「近代都市における河川水運の役割」
 <懇親会> メーブルホール1F
5月29日 9月卒業生公開口頭試験
8月24日～9日10日 国士館地理学会夏季巡検（石垣島白保：長谷川）
9月30日～10月1日 2年生野外実習
 （群馬県川場村：長島、群馬県藪塚本町：瀬戸、長野県霧ヶ峰高原：野口・長谷川、静岡県
 修善寺町：内田、群馬県甘楽町：岡島）
10月21日～24日 3年生巡検
 （大阪市：長島、仙台市：瀬戸、銚子市：野口、北海道：長谷川、那覇市：内田、
 名古屋市：岡島）
12月13日 国士館地理学会（於 世田谷キャンパス 10号館 10329教室）
 <講演会> 門村 浩氏「アフリカ・サヘル地方の砂漠化」
 <ゼミ発表> 小笠原洋介、吉田正光、若井里江子、金子滋幸、小棚木いずみ、庄田哲夫
 <懇親会> 柴田会館3F

重要事項！必ず読むこと！

研究室、図書館から借りだしている書籍・備品は口頭試験の前（2月初旬）までに必ず返却して下さい。未返却者は、口頭試験が受けられません。

【97年度地理巡検の記録】

- 1年生地理実習：5月22日（木）、23日（金）実施
◎長島・瀬戸・野口・長谷川・内田・岡島
実施地：東京都渋谷区
参加学生数：1年生61名（男子45名、女子16名）、2年生3名（男子2名、女子1名）
テーマ：1日目：公園通り周辺と道玄坂周辺での商店街調査
 2日目：渋谷駅周辺での土地利用調査

内容：1日目：繁華街の商業店舗の業種分布から、ミクروسケールでの商業立地の特性と、渋谷という盛り場の地域特性を明らかにすると同時に、18年前（1979年）の商業店舗立地と比較して、この間の変化を明らかにし、その理由を考える。

2日目：土地利用分布から、渋谷を構成しているいくつかの地域に区分し、それぞれの地域の地域特性を明らかにすると同時に、上記の方法で明らかになった渋谷の土地利用の地域特性から、渋谷の空間構造を解説する。

課題：1日目のレポート：「業種別店舗立地からみた渋谷商業地区の特性とその変化」

2日目のレポート：「渋谷の空間構造とその解釈」

2年生巡検：9月30日（火）、10月1日（水）実施

◎長島

実施地：群馬県昭和村、川場村

参加学生数：14名（男子8名、女子6名）

テーマ：中山間地域の村づくり

内容：第1日 昭和村の戦後開拓村での農業経営についてのききとり（2名1班）。夜、報告・討論。

第2日 班ごとにききとり調査。川場村観光開発公社、中野加工組合、田園プラザ他。まとめの会（報告・討論・総括）。

課題：レポート：400字詰原稿用紙にして20枚程度。構成項目指示。

◎瀬戸

実施地：群馬県新田郡藪塚本町

参加学生数：11名

テーマ：大間々扇状地の灌漑水路と農業土地利用の調査

内容：江戸時代に開削された渡良瀬川から取水する岡登用水は扇状地東縁部など極く一部を灌漑できるにすぎなかった。昭和46年、草木ダム完成により、国営渡良瀬川水利事業で、頭首工、調整池、幹線水路が建設され、54年～平成6年、県営で扇状部の藪塚台地に区画整理と畑灌漑管が設置され、灌水設備を必要とするハウス栽培が急増した。

第1日 2万5千分1地形図を見ながら藪塚台地の土地利用、ハウス、大原宿の地割り、都市的土地利用への変化の現地調査を行い、「藪塚台地土地改良区」事務所でも用水と農業の実態、変化について説明を聞く。

第2日 「岡登堰土地改良区」の国土館OBの事務局長の説明・案内で、岡登用水路の末端から遡り、鹿ノ川沼調整池、三俣分水工、大間々頭首工、草木ダムの現地調査。

課題：2万5千分1地形図の読みとりと、昭和63年と平成7年修正測量図、1万分1藪塚本町の地形図を使った比較、現地観察による土地利用変化について地図とレポートにまとめる。

◎野口・長谷川

実施地：長野県霧ヶ峰高原

参加学生数：28名（男子20名、女子8名）

テーマ：霧ヶ峰高原を例に、本州亜高山帯の自然環境を理解する。

内容：①霧ヶ峰高原の地質学的・地形学的位置づけ

②霧ヶ峰高原の気候学的位置づけと生態系

③霧ヶ峰と人的関わり（縄文時代から今日まで）

課題：霧ヶ峰に関し、問題点を取り上げ、それを解決させる方向で論を進めるか、または霧ヶ峰の自然環境について総合的に記述する。

◎内田

実施地：静岡県修善寺町、天城湯ヶ島町

参加学生数：13名（男子9名、女子4名）

テーマ：社会調査の計画・実施・分析の方法

内容：伊豆の範囲についての意識調査を街頭調査法で行い、クロス集計と χ^2 検定を用いて分析する。

課題：調査結果から複数のクロス表を作成し、それから読み取れることをレポートする。

◎岡島

実施地：群馬県富岡市、甘楽郡甘楽町

参加学生数：14名（男子11名、女子3名）

テーマ：上州の歴史地理

内容：①旧官営富岡製糸場遺構と富岡市街地の見学

②甘楽町歴史資料館と旧小幡城下町の見学

③小幡城下町町並み調査－各班ごとに町並みの家屋調査と聞き取り調査を行う

課題：「小幡地区の市街地構造と歴史的変遷」

小幡市街地の構造図と町並み調査結果の地図を作成し、表記の課題についてレポートする。

3年生巡検：10月21日（火）～24日（金）実施

◎長島

実施地：大阪

参加学生数：15名（男子14名、女子1名）

テーマ：各人の設定したテーマによる

内容：老朽化住宅密集地域の現状と今後の課題、大阪市の緑化と景観づくり、水防対策、ウォーターフロント開発、ゴミ問題、都市近郊農業、ため池を活用した新しい水辺空間づくり、など

課題：レポート：400字詰原稿用紙にして30枚程度

◎瀬戸

実施地：仙台市および周辺地域

参加学生数：13名（男子13名）

テーマ：各自の設定したテーマ。テーマは市街地再開発、地下鉄延伸と副都心開発、バイパス沿いの商店、住宅団地開発と交通の便、丘陵地の開発と森林の減少、都市と緑量、都市の公園、観光、洪水災害と防災対策、県北部山間の町の過疎対策などであった。

内容：第1日 仙台市役所会議室で都市計画課の主査から、あらかじめFAXで送った調査目的、視点に基づいて、仙台市の都市発展、都市計画事業の概要、変遷について説明を聞き、資料をいただいた。質問事項について、都市計画課以外の資料の種類や担当課、電話番号を一覧表にして用意しておいたもので、各自のテーマに従い、各課を訪問、市政情報センター、県庁の県政情報センターなどで資料を収集した。

第2日以降 各自、資料調査、現地調査。

課題：レポート、土地利用図ほか主題図の作成

◎野口

実施地：千葉県銚子市

参加学生数：15名（男子10名、女子5名）

テーマ：銚子周辺の気候環境と海況

内容：気象観測によるデータ取得、銚子地方気象台の累年気象データの解析、漁業・水産試験場・銚子地方気象台での説明をもとに、銚子の気候環境を議論する。

課題：銚子地方気象台累年気象データ、千葉県沖海面水温データ、巡検中収集した各種データを基に、各自のテーマを設定する。

◎長谷川

実施地：北海道道東地方

参加学生数：4名（男子1名、女子3名うち1名は4年生）

テーマ：道東の地形

内容：道東地方を自動車一周し、この地方で見られるさまざまな地形（海岸、周水河、火山）を観察した。

課題：レポート10-20枚。

◎内田

実施地：沖縄県那覇市周辺

参加学生数：7名（男子3名、女子4名）

テーマ：各人の興味に基づいてテーマを決定し、現地で脚を棒にして調査する

内容：沖縄の食文化について、沖縄市国際通りと中央パークアベニューの看板調査、住民と観光客の沖縄についてのメンタルマップの違い、沖縄県民の郷土愛について、沖縄の学校校歌の地域性、沖縄方言の認知度について、豊見城村民の風水意識と信仰

課題：各人が決定したテーマについて小論文を書く

◎岡島

実施地：愛知県名古屋市

参加学生数：13名（男子13名）

テーマ：名古屋市とその周辺における地域調査

内容：主として都市地理学・交通地理学に関して、各自が設定したテーマに基づいた資料収集、アンケート、聞き取り調査の実施。

課題：各自が設定したテーマについてのレポート作成

国土館地理学会春季巡検（引率：内田）：3月6日（木）

実施地：東京都江東地区

参加学生数：7名（男子4名、女子3名）

テーマ：江戸・東京の不思議空間 Part2

内容：東京を南北に流れる隅田川は、300年前に江戸の百万都市を実現させ、その後の江戸・東京の発展に

不可欠な川であった。第二次大戦後、江戸・東京の神話的空間は急速に忘れ去られていったが、いわゆる「下町」とよばれる隅田川の沖積低地には、江戸の名残りや、明治・大正の面影が、まだかすかに残っている。こうした下町の風情を訪ね、隅田川に沿って向島から佃島まで、文字通り歩き、近代都市東京に埋もれた歴史を読み解きながら、時代（とき）の旅人になって江戸・東京の不思議空間を巡礼した。

【97年度卒業論文公開口頭試験受験者】

番号	氏名	表題	主査	副査
1	小平 佳奈子	長野県東部佐久盆地における地形発達史—ボーリングデータとメッシュマップを利用した古地理の復原—	長谷川	野口
3	寺本 和哉	河北潟および内灘砂丘周辺の海岸地形の変遷	長谷川	野口
4	稲見 悟志	亜高山帯の人工草地における凍結・融解作用で形成された小起伏地形—栃木県足尾山地を例に—	長谷川	野口
6	植木 健文	新潟市における都心周辺地域の土地利用変化	瀬戸	岡島
7	酒井 陽介	大規模小売店舗進出による既存商店街への影響について—東京都府中市の事例	内田	長島
8	中島 直理子	訪日外国人による日本の観光地評価と観光行動について	内田	長島
9	金井 宏	鉄道沿合路線区間における駅勢力圏について—東京都日野市を例に—	内田	岡島
10	伊藤 智彦	東京都八王子市における人口激増要因と土地利用パターン	瀬戸	長島
11	後藤 和美	東京都23区における高齢者福祉施設の分布と在宅サービスの地域差について	瀬戸	長島
12	福田 晶子	都市中心部における中高層集合住宅の立地過程と特性—埼玉県川口市を対象として—	瀬戸	長島
13	手塚 浩章	城島旭村におけるメロン栽培と海洋気候との関係について	野口	長谷川
14	中島 加奈子	神奈川県相模原市における先端技術産業の役割—NEC相模原事業場を中心として—	岡島	内田
15	石松 征一郎	千葉県船橋市における鉄道路線及び各駅の特徴とその分類	瀬戸	岡島
16	征矢 尚	都市農地を残すための一つの手段としての市民農園—東京都練馬区の3種類の農園を事例として—	長島	瀬戸
18	菊池 信宏	環境保全型農業の取り組みについての考察—群馬県新田郡新田町を事例として	長島	瀬戸
19	早川 雅隆	池上本門寺におけるクールアイランド現象について	野口	長谷川
22	倉澤 晴信	横浜市都筑区川和町における気温分布について	野口	長谷川
23	石橋 淳	奥日光白根山周辺における立ち枯れ現象について	長谷川	野口
24	中川 奈津江	付着藻類をつかった都市河川の水質指標について—横浜市を例とした多変量解析による研究—	長谷川	野口
25	塩沢 隆幸	密生した街路樹におけるクールアイランド現象について—杉並区阿佐ヶ谷・高円寺を例として—	野口	長谷川
26	田中 俊行	前橋市中心市街地における駐車場の変容	瀬戸	長島
27	水落 健一郎	都市近郊地域における梨農園の経営動向—千葉県北西部を事例として—	長島	瀬戸
29	志村 剛治	三浦半島南部における海浜植物の成帯構造と地形	長谷川	野口
33	大塚 茂	生産緑地法改正後の都市農業の変化—東京都昭島市を事例として—	長島	瀬戸
36	小船 勝巳	群馬県吾妻川地域における地すべり地形の分布と特徴について	長谷川	瀬戸
39	水田 博史	濃尾平野西部・養老町の地下水流動	長谷川	野口
41	高野 裕	福島県福島盆地における風の特徴について	野口	長谷川
42	岡根 健太郎	自然観光地域における環境保全	長島	内田
44	下川 直樹	諏早湾の干潟環境の変化について	長谷川	瀬戸
45	横山 美和子	幕末から明治初期にかけての横浜のイメージの変化—横浜浮世絵をテキストにして—	内田	岡島
48	土屋 真紀	中華人民共和国・三江平原における多時期LANDSAT/MSSデータによる土地被覆変化の抽出	長谷川	野口
50	磯部 博宣	関東各都県のイメージ評価パターンとその構造について	内田	長島
52	五十嵐繁樹	関東山地北部荒船山における岩塊流について	長谷川	野口
54	涌井 重信	中山道本庄宿の構造と繁栄の要因—近世後期を中心として—	岡島	内田
55	増田 尚徳	静岡県地域イメージについて—観光パンフレットを用いた分析から—	内田	長島
56	佐々木 善教	都市近郊郊農における糞尿処理について—千葉県八千代市・船橋市を事例として—	長島	内田
57	奥原 琢弥	丹沢山地東部におけるササ林の退行現象—空中写真画像解析と分光放射測定を例に—	長谷川	瀬戸
59	渡邊 竜平	浦和市の河川事業の変化から見た地域の特性	瀬戸	岡島
62	手塚 心	埼玉県草加市における米菓（煎餅）業—生産流通過程を中心に—	内田	瀬戸
64	徳永 匡	東京都港区・足立区における町名変更および住居表示変更について	内田	岡島
66	吉田 直樹	静岡市中心部における都心機能の分布	瀬戸	岡島
67	仲村 暖	海洋が陸地上の気温に与える影響について—観測地点の海岸線までの距離を研究要素として—	野口	長谷川
69	堀 英吾	千葉県銚子市における霧日数の永年変化とその要因について	野口	長谷川
72	佐々木 徹	インターネットを利用した農産物の産直について	長島	内田
73	井上 智子	国勢調査町別統計データからみた新宿区の居住地域構造の変化について—1965～1995年まで—	内田	瀬戸
75	中村 悟	神奈川県横浜市青葉区寺家町におけるふるさと村の考察	瀬戸	岡島

77	及川 英保	八王子市の都市整備と住民意識	岡 島	内 田
87	北野 まみ	市民による公園の管理運営について―神奈川県横浜市の舞岡公園を対象として―	長 島	岡 島
88	長竹 直樹	山梨県雨畑川・桃胡草里沢における土石流扇状地の発達過程	長谷川	瀬 戸
89	神谷 玲央	防火の観点から見た地すべり地の危険度の判定―群馬県神流川流域を例に―	長谷川	野 口
90	星野 勝之	砂防ダムが及ぼす河床の堆積状況の変化について―高屋川上流を例に―	長谷川	野 口
91	猪平 大典	秋葉原における近年の店舗種類の変化	瀬 戸	内 田
92	郷 好庭	市民農園の利用とその役割―東京都世田谷区の場合―	長 島	岡 島
93	鈴木 亜衣子	日本の干潟問題・開発か保全かをめぐる動き―東京湾・三番瀬を事例として	長 島	瀬 戸
94	長谷川 智美	同僚会アパートにおける居住者の特性と居住移動について―青山アパートを例に―	瀬 戸	内 田
95	石鍋 泰司	ワサビ栽培と気象との関係について―静岡県伊豆半島天城湯ヶ島町を中心として―	野 口	内 田
96	稲葉 剛	福島県磐梯山エリアスキー場開発と周辺地域への影響―会津フラワーリゾート構想を背景に―	瀬 戸	内 田
97	田部 貴志	都市内バス輸送網のネットワーク分析―福岡市を例として―	内 田	岡 島
99	清水川 令	八ヶ岳連邦鎮枯山における南西卓越風と結核現象との関係	野 口	長谷川
700	山崎 充	首都圏ゴミ処分場立地における必要性と問題点―東京都西多摩郡日の出町を例として―	長 島	岡 島
701	伊集院照華	東京湾海上公園における水辺利用に関する研究―臨海副都心部を事例として―	長 島	岡 島
702	望月 徹	神奈川県横浜市左近山団地における気温分布	野 口	岡 島
703	近藤 智子	霞ヶ浦の水質変化が周辺地域に与える影響について	長 島	内 田
704	浅野 久実	宮城県宮戸島における海苔養殖について	岡 島	内 田
707	谷川 雅洋	小田急線相模大野駅周辺部における空間利用状況とその変化	岡 島	内 田
708	大石 秀行	埼玉県外秩父山地大霧山斜面における夜間気温の特性とその発生頻度について	野 口	岡 島
709	寺田 昌浩	九州地方における夏季日最高気温の永年変化について	野 口	瀬 戸
711	下地 秀樹	沖縄県におけるサトウキビ収穫と気象との関係について宮古島(島尻マージ)を中心として	野 口	長谷川
717	吉田 郁夫	東京23区における自動車交通事故の発生についての地理学的考察	岡 島	長 島
719	天谷 尚以	栃木県日光市における観光客現象の要因	岡 島	長 島
724	浅沼 英治	観光を目的とした廃坑の再利用	長 島	岡 島

【国土館地理学会費の納入について】

本年度の国土館地理学会費を至急お支払いください。以下に掲げる会費未納者は、次の要領で2月末までに、全員必ず会費を納入するようにして下さい。名前の右側にある数字は、これまでの未払い年度です。併せてお願いいたします。

1. 必ず2月末日までに、学会費を郵便局へ振り込んで下さい（講座番号00150-7-161762）。
2. 今年度中に卒業する予定の者は、2月10～13日の口頭試験のときに徴収しますので、必ず当日は学会費（現金）を持ってくるようにしてください。

地理学会会計担当より